

問題1 次の(1)～(3)のうち2つを選択し、その答えをそれぞれ解答欄①と②に記入しなさい。((1)～(3)のうち、選択した番号を解答欄の□の中に記入すること。)

- (1) 人のカンピロバクター食中毒について、「原因菌の性状・生態・病原性」、「臨床症状」、「原因食品」、「予防対策」をそれぞれ簡潔に説明しなさい。
- (2) 豚コレラについて、「日本国内での発生状況」、「症状」、「予防対策」をそれぞれ簡潔に説明しなさい。
- (3) 高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) について、「原因」、「感染経路」、「臨床症状」、「検査法」、「発生時の防疫措置・予防対策」をそれぞれ簡潔に説明しなさい。

問題2 次に掲げる法律の第1条の目的を抜粋した文章について、次の記述に①～⑩にあてはまる語句を下欄ア～ソの中からそれぞれ選び、解答欄に該当する記号（ア～ソ）を記入しなさい。

(1) 食品衛生法

（①）に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって国民の（②）の保護を図る。

(2) 家畜伝染病予防法

家畜の伝染性疾病の発生を（③）し、及びまん延を防止することにより、（④）の振興を図る。

(3) 狂犬病予防法

狂犬病の発生を（③）し、そのまん延を防止し、及びこれを（⑤）することにより、（⑥）の向上及び公共の福祉の増進を図る。

(4) 消費者基本法

消費者の（⑦）の擁護及び増進に関する総合的な施策の推進を図り、もって国民の（⑧）の安定及び向上を確保する。

(5) 食品安全基本法

食品の（⑨）の確保に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体及び（⑩）の責務並びに消費者の役割を明らかにするとともに、施策の策定に係る基本的な方針を定めることにより、食品の（⑨）の確保に関する施策を総合的に推進する。

【下欄】

ア：利益	イ：抑制	ウ：増長	エ：予防	オ：食品関連事業者
カ：撲滅	キ：動物愛護	ク：消費生活	ケ：畜産	コ：公衆衛生
サ：安全性	シ：基本性	ス：健康	セ：飲食	ソ：社会生活

問題3 消毒剤の種類と特徴について述べた次の記述の(1)～(10)に当てはまる語句を、下欄(ア)～(ス)の中からそれぞれ選び、解答欄に該当する記号(ア～ス)を記入しなさい。

- アルコール類:(1)とイソプロパノールが用いられる。主に(2)の変性と、(3)の溶解効果を利用したもので、多くの一般細菌、結核菌、多くのウイルスに効果があるが、芽胞、糸状菌やエーテル耐性のウイルスには効果がない。
- フェノール類:石炭酸、クレゾールおよび(4)が用いられる。安定で蛋白混入や加熱によっても殺菌力が低下しない。
- アルデヒド類:(5)やグルタルアルデヒドが用いられる。生体高分子に対する強力な(6)によって殺菌力を発揮する。
- 逆性石鹼:高級アルキル基を含む4級アミンで、(7)が代表的である。普通の石鹼とは逆に、界面活性剤の親水性部分が陽性に荷電しているので、逆性石鹼または陽性界面活性剤という。
- 塩素化合物:塩素ガスは水溶性で有機物を(8)する他、活性酸素を生じて酸化により殺菌する。(9)は、飲料水、プール、器具などの消毒に用いられるが、金属腐食作用があり、有機物の混入で効力が低下するため、汚染器具の消毒時には注意する。
- 酸化剤:(10)と過マンガン酸カリが代表である。(10)はオキシドールとして創傷の消毒に用いられる。

【下欄】

(ア) エタノール	(イ) ホルムアルデヒドガス	(ウ) ヘキサクロロフェン	
(エ) 塩化ベンザルコニウム	(オ) 過酸化水素	(カ) 次亜塩素酸ソーダ	
(キ) メチレンブルー	(ク) 蛋白質	(ケ) 脂質	(コ) 糖質
(サ) アルキル化	(シ) ハロゲン化	(ス) 還元	

問題4 「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に規定される内臓摘出後検査において、疾病又は異常を有すると判定された場合にその食鳥肉等に対し「全部の廃棄等の措置を講じなければならない」とされている疾病又は異常を5つ挙げ、解答欄に記入しなさい。

問題5 家畜の寄生虫病について、次の記述の（ア）～（コ）に当てはまる適切な語句を解答欄に記入しなさい。

1. 本症は *Leucocytozoon caulleryi* を原因とし、（ア）により媒介される。感染した（ア）の吸血時に宿主体内に（イ）が侵入し、脾臓・肝臓などの血管内皮系細胞に寄生し、第一代（ウ）に発育する。末梢血液の塗抹標本をギムザ染色すると赤血球内に侵入した第二代（エ）やガメトサイトを確認することができる。発生には季節性があり、日本での発生は（オ）に多くみられる。
2. 本症は *Histomonas meleagridis* を原因とし、（カ）により媒介される。（カ）の虫卵内に侵入したヒストモナスは虫卵とともに体外に排出される。野外で含子虫卵に発育した虫卵を（キ）が食べるとその体腔内で感染子虫に成長し、（キ）が宿主により捕食されることにより感染が成立する。病変は（ク）や（ケ）等に多くみられる。（ク）には菊花状の壊死病変が見られる。（ケ）には潰瘍や黄緑色チーズ状のかたまりがみられる。
 1. 2. に共通する宿主となる家畜名は（コ）である。

問題 6 次の①から⑩の狂犬病に関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- ① 人と動物の共通感染症である。
- ② 家畜伝染病予防法 第2条に定める牛、馬、めん羊、山羊、豚、その他の家畜（水牛、鹿いのしし）の家畜伝染病である。
- ③ 東南アジアでは撲滅された疾病である。
- ④ 主にコガタアカイエカによって媒介される。
- ⑤ 感染した場合、死亡率は動物及び人ともほぼ 100%である。
- ⑥ 大脳、小脳及びアンモン角に特徴的な好酸性の封入体（ネグリ小体）が観察されることが多い。
- ⑦ 原因病原体はらせん状の細菌（スピロヘータ）である。
- ⑧ 分離には小川培地がよく用いられる。
- ⑨ 狂犬病予防法において犬のワクチン接種が義務付けられている。
- ⑩ 感染予防のためには、発生国ではむやみに動物に接触しないことが重要である。